

# 「磐井川砂防探検隊」 出動しました

○開催日時：平成26年6月12日（木）、16日（月）、18日（水）

○実施場所：祭時被災地展望の丘、祭時大橋見学通路、槻木平砂防堰堤  
北上川学習交流館「あいぽーと」

○参加者等：一関市立 厳美小学校、舞川小学校、滝沢小学校、弥栄小学校

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震から6年がたちました。

また、6月は梅雨やこれからの台風シーズンに備え、土砂災害についての理解と関心を深めるため、防災知識の普及啓発を目的とする「土砂災害防止月間」とされておりま

す。岩手河川国道事務所・岩手県・一関市は、次世代を担う小学4～5年生を対象とし、一関地域における自然災害（水害・土砂災害）と土砂災害から人命と財産を守る「砂防」について学習することを目的として、「磐井川砂防探検隊」を開催（今年で5回目）致しました。

当日は災害遺構「祭時大橋」や、現在工事が進められている「槻木平砂防堰堤」を見学したあと、北上川学習交流館「あいぽーと」で施設内の集中管理センターやXバンドMPレーダーを見学して、災害対策等について学習しました。

参加した児童からは「土砂崩れで流れてきた木を見て驚いた」「地震の怖さを知った。家族に伝えたい」「砂防の為に県や市、国がどんなことをしているのか分かった」などの感想を頂き、とても有意義な探検隊となりました。

今回の探検隊をとおして、児童は身近で起きた災害の現場を見学し、一関地域の自然災害やその自然災害に対して様々な取り組みがされていること学んだようでした。



祭時被災地展望の丘前駐車場で出発式



熱心にメモをとる児童達



祭時大橋から災害遺構と砂防堰堤を眺める



祭時大橋見学通路を歩いて見学



落橋した橋の説明を聞く児童達



槻木平砂防堰堤の見学



うわ～高いな～！



全員で記念撮影



昨年工事完了した「市野々原砂防堰堤」



あいぽーとにある「XバンドMPLレーダー」



あいぽーとにある「集中管理センター」



修了式